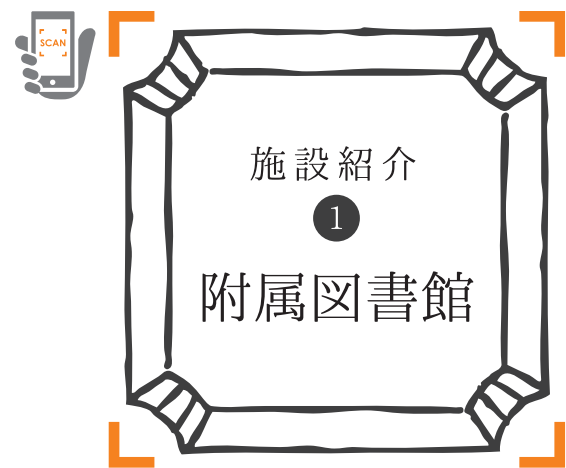




沖縄・国際関連コンテンツの充実をはじめ、
琉球大学の独自性を色濃くあらわす
「知の殿堂」

附属図書館は沖縄関係の資料が充実しており、本学の学生と教員だけでなく、県内外の多くの研究者にも利用されています。また、国連寄託図書館及びEU情報センターに指定されており、国際資料も数多く所蔵しています。蔵書は約100万冊あり、毎年1万冊以上の資料を購入しています。学修や研究に必要な情報を蓄積・提供するため、図書や雑誌だけでなく、データベースや電子ジャーナル等の学術情報基盤整備に努めており、附属図書館のホームページからも情報を効率よく検索できます。



主なサービス・機能

●閲覧・貸出

年末年始や大学入試日を除いてほぼ毎日開館しています。館内は貴重資料室等の一部を除き入室や閲覧は自由で貸出もしています。

●図書購入

学生や教職員からのリクエストを受け、必要な図書を購入しています。

●レファレンスサービス

サービスカウンターは世界の図書館ネットワークの窓口です。所蔵資料の利用案内をはじめ、さまざまな学術情報を活用するための相談に応じています。

●琉球大学学術リポジトリ

本学の学術成果の一部をインターネットを通じて公開しています。本学でどのような研究が行われているのかご覧ください。

●ILL(図書館間相互貸借)

当館が所蔵していない図書を他の図書館から取り寄せたり、論文等の複製(コピー)を取り寄せるサービスです。

●図書館利用講習会

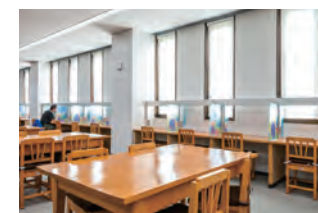
学修に必要な情報の調べ方について、各種講習会を開催しています。講義の一環としても活用されています。

●ラーニング・コモンズ

パソコンエリア、グループ学修エリア、プレゼンテーションエリアのほか、学修相談窓口があり、学び、考え、議論し、発表する場として活用できます。

●沖縄関連コンテンツの充実

古文書の内容をわかりやすく紹介したデジタルアーカイブや、沖縄関係に特化した文献情報データベースなど、沖縄関連のコンテンツを充実させています。学内外の沖縄関連データベースが横断検索できる「沖縄情報統合検索システム iXio(イクシオ)」は、レポート作成にフル活用できます

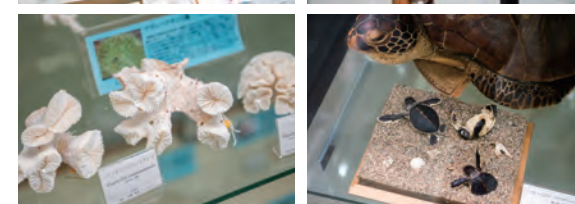
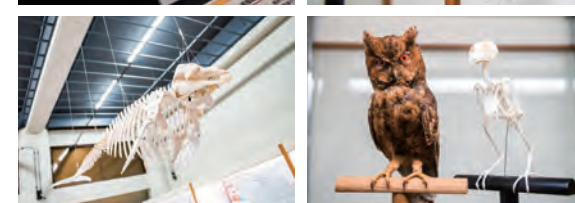
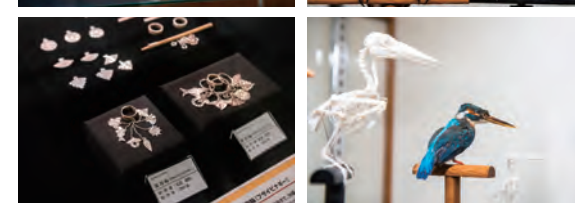




上段は文化系展示室、中段下段は自然系展示室



1階の常設展示室では、沖縄の自然や文化を特徴づける約4000点の資料が展示されています。展示資料の中には、世界で最初に発見されたイリオモテヤマネコの標本や首里城に設置されていた日時計の破片など、貴重な資料が数多く含まれています。また、すぐ隣には「学校ビオトープ見本園」が設置されており、様々な昆虫や植物、島ヤギなどが観察できます。



施設紹介 2 風樹館

沖縄の自然と文化をテーマに
約20万点の学術資料を収蔵

琉球大学には附属の博物館があります。農学部のごく近くにあるレンガ造りの丸い建物が博物館で、通称「風樹館」と言います。ここには、約20万点の資料が収蔵されており、学内外の研究や教育に活用されています。また、地域の学校教育や生涯学習への教育支援活動なども行っており、地域に開かれた大学博物館を目指しています。

